

大晦日まであと6日、皆様方には大変お忙しい毎日をお元気で過ごしの事と拝察いたしております。アベノミクスはトンネルの向こうに光が見え始めましたが、中々出口へ到着しない焦燥感がありますが「失われた20年」を振り返りますと、改めて政治の安定がいかに重要かを教えられた思いであります。先日の衆議院選挙によって大勝した安倍政権は、長期強力な内閣を予感させております。先ず前半は地方創生を謳いながらも日本の企業がグローバルな競争の中で対等に戦い勝てる様、昨年に続いて更なる努力を注ぐと思われま。戦前戦後を通じて1年間61か国のトップセールスをされた首相はなく、その成果が生かさなければなりません。国民もまた安倍首相のこの努力に衆議院選挙に大きな評価を与えてくれたものと思われま。これからの地方創生はどうなるかと問われるならば、私共の選挙区から選出した浜田靖一議員は石破地方創生大臣とは別頭の中でありますので、先日浜田先生に「地方創生に対しては地域の方々は大変期待致しております」と申し上げましたところ「国が何を与え、何かをしてくれるだろうと言う要望には応えられないでしょう。皆様がこれからどのようにしたいのか、この地域をみんなの力でこう言う形のものを作りたいから応援しろ！と示して下さいれば、いくらでも応援させて頂きます」と言うお返事でした。

かずさ4市は全国1741市町村(2014年4月現在)の中で財政力比率、公債比率等については全国上位の財政力を持って居ります。沿岸、内陸に世界的コンビナートをこれだけ持っているところはないからであります。これだけ円安となると本来外地へ出た生産工場は、国内へ引き上げて良いと思いますが、むしろ消費国から現地生産の要望も強く、現地生産供給の方が時間、コストも軽減されますから安倍首相が望む国内への企業の誘致、設備投資は中々難しいようであります。すでに韓国では国内で稼いだ内部保留をすべて東南アジア等へ投資されているので法規制が設けられたと報じられております。立地的に恵まれたかずさ4市には生産工場の誘致も十分可能であり、特に観光事業の増大は期待されますが一方抗し難い少子高齢人口減、財政への危機感を健全なうちに今一度、2市、3市、4市出来るところから合併議論を俎上に載せる時でないかと思っております。

平成の大合併であまり成功例は少ないようではありますが、行き詰ってからは遅いのではないのでしょうかと思っております。4市は素晴らしい条件をたくさん持って居ります。4市が一体となってバランスの良いまち絵を描かないと大企業、大型店、デベロッパーが栄えて街は消滅する危険性を感じるからであります。コンパクトシティは旧町村の中心街に機能住居を集積して老人、病人、弱者、孤立、空き家から家族と一緒に働き生き残るまちづくりであります。

人間は群れを作り、経験、失敗を知恵として生かし、共に分かち合い、助け合ってきたから万物の霊長として栄えてきました。皆さん大らかに、笑顔を忘れず、声掛け合って良い年をお迎えください。

1月8日(木)ハミルトンホテルにて『新春賀詞交歓会』を開催します。皆様のご参加お待ちしております。